

徹底比較！生成AI連携チャットボットと エンタープライズサーチの使い分け ～社内ドキュメント資産の効果的な活用方法とは～

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社



アンケートにご回答いただいた方へ、 本日の発表資料をお送りします

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

アンケートにご協力ください_できる管理者はOSとアプリを分ける！？～「苦勞あるある」から考える、VDIの最適解～

必須 1.会社名

必須 2.お名前

必須 3.セミナー資料を希望されますか

希望する

希望しない



徹底比較！

**生成 AI 連携
チャットボット** と **エンタープライズ
サーチ**

使い分け

社内ドキュメント資産の効果的な活用方法とは

7/31(水) 11:00-11:40

高見 秀司 (パナソニックソリューションテクノロジー)

芦原 圭亮 (パナソニックインフォメーションシステムズ)

Panasonic

セミナー終了後、本日のセミナーの「アンケート」が表示されます。
ご回答いただいた方へ、本日の発表資料をお送りします。

お気軽にご質問ください

- 「もしかして、もう既に話してた内容かな？」と思っても、お気軽に聞いてください。
- どんな初歩的な質問でもOKです。
- 具体的な質問、Welcomeです。

芦原 圭亮

Ashihara Keisuke

パナソニック インフォメーションシステムズ
営業統括部

- 民間企業様向けセールス
- 座右の銘 #心は人の未来を示す地図
- 趣味 散歩、体を動かす



高見 秀司

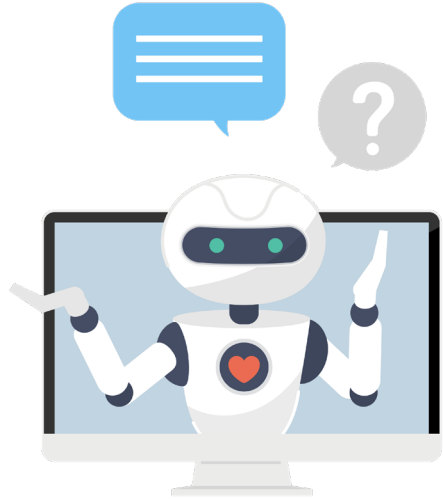
Takami Hideji

パナソニック ソリューションテクノロジー
事業企画部

- SaaSサービスの事業企画、エバンジェリスト
- 座右の銘 自責の念で自ら行動
- 趣味 スキー、音楽、お酒



今、注目を集めている 2つのソリューション

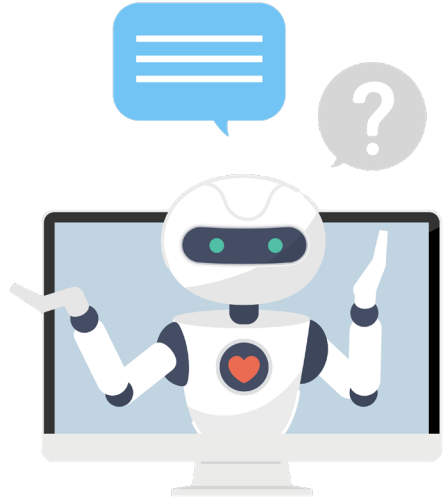


『生成AI連携』チャットボット



エンタープライズサーチ

『生成AI連携』チャットボット



『生成AI連携』チャットボット

チャットボット市場規模

2024年

70億米ドル

2029年

208億米ドル

エンタープライズサーチ



エンタープライズサーチ

エンタープライズサーチ市場規模

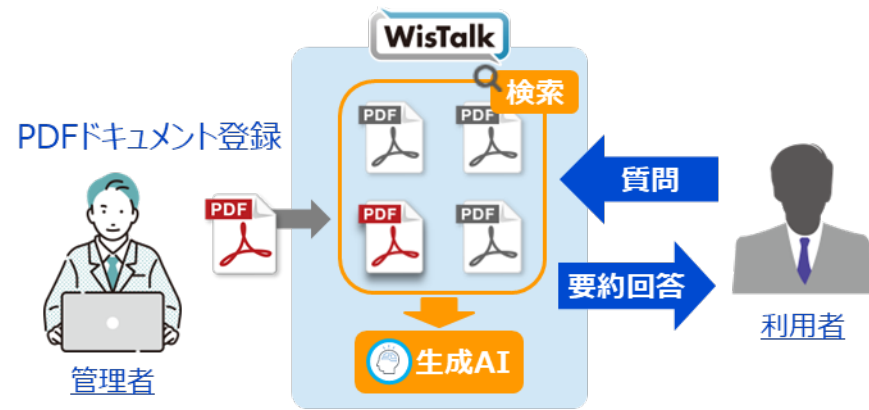
2021年

45億米ドル

2027年

88億米ドル

生成AI連携チャットボットとは？



『生成AI連携』チャットボット

従来型チャットボット・・・
ユーザーの質問文に対し
「事前に人が作成した回答文」を
表示させる仕組み

『生成AI連携』チャットボット・・・
ユーザーの質問文に対し
「AIが登録ドキュメントから要約
生成した回答」を表示させる仕組み

生成AI連携チャットボットとは？

欲しい回答にすばやく辿り着ける

生成AIが要約回答を表示。併せて要約元のドキュメントで詳細を確認

The screenshot shows the WisTalk chatbot interface. At the top, a blue header contains the text "WisTalk". Below it, a question is displayed in a blue bubble: "通勤手当は支給されますか？". The chatbot's response is shown in a white bubble with a blue border, containing the text: "《チャットボット内の情報から生成AIが回答します》
はい、通勤手当は支給されます。具体的な支給方法については、6ヶ月分の定期代を年2回支給するという規定があります。
(生成AIによる回答です。AIは不正確な回答をする場合があります。回答内容/参考ページを確認のうえご利用ください)". Below the answer is a button labeled "同じ質問でQAの候補を見る". To the right of the chatbot interface is a "参照ページ一覧" (Reference Page List) section. It contains three entries, each with a link to a PDF document: "社員就業規則全文 20230401.pdf(34 ページ)", "社員就業規則全文 20230401.pdf(38 ページ)", and "社員就業規則全文 20230401.pdf(43 ページ)". A hand icon with a lightning bolt is pointing to the first link. A green callout box with white text says "リンクをクリックして回答生成のために参照したドキュメント箇所を確認". At the bottom of the chatbot interface, there are two buttons: "はい" (Yes) and "いいえ" (No), and a text input field with the placeholder "選択肢をクリックしてください".

回答画面イメージ

エンタープライズサーチとは？



エンタープライズサーチ

エンタープライズサーチ…
「企業内に保管されたデータ」を
保管場所を意識することなく
「一括で横断検索」し
検索結果を表示させる仕組み

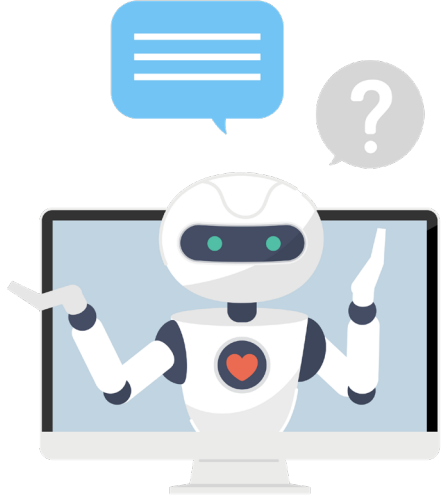
エンタープライズサーチとは？

欲しいデータにすばやく辿り着ける

データ保管場所を意識することなく一括横断検索。

The screenshot shows the Neuron Enterprise Search web interface. At the top, there's a search bar with the text "内容+ファイル名" and "Neuron 選ばれる理由". To the right, there are options for "完全一致" and "詳細検索", along with "検索履歴" and "個人設定" icons. Below the search bar, there are filters for "フォルダ指定" (neuron-demo-dc, www.dropbox.com, etc.), "取得元" (Box, Dropbox, FileServer), and "最終更新日" (指定なし, 2日以内, etc.). The main search results area shows three items: "neuron_選ばれる理由.pptx", "Neuronパンフレット (Boxコラボ).pptx", and "case09_shimz.pptx". Each item has a thumbnail, a title, a file path, and a brief description. Callouts are present: a blue box on the left says "選択したリポジトリを横断検索" (Cross-repository search of selected repositories); a blue box on the right says "欲しい情報に素早くリーチする絞込検索" (Narrowed search to reach desired information quickly); a blue box at the bottom center says "利用者の権限に応じて検索結果を表示" (Display search results according to user permissions); and a blue box at the bottom right says "サムネイル・プレビューで欲しい情報を直感的に確認" (Intuitively confirm desired information with thumbnails and previews).

回答画面イメージ



『生成AI連携』チャットボット



エンタープライズサーチ

どちらも多くの企業がこぞって導入

意外と分からなくなる

「生成AI連携チャットボット」と
「エンタープライズサーチ」
どちらが合うのか？

ユースケースでご紹介します

社内問い合わせ時のQA負荷軽減

社内問い合わせデスク用に
チャットボットを導入済みだが、
Q&Aリストのメンテに苦勞している。

⇒ **生成AI連携チャットボット**
従来型チャットボットで必要だった
Q&Aリストのメンテが不要に！



社内規定の確認

複数の社内規定から
必要な情報だけを
一問一答で見つけられるようにしたい。

⇒ **生成AI連携チャットボット**
一問一答は
生成AI連携チャットボットの得意分野



バラバラに保存されたデータの活用

ファイルサーバやBox、Notesなど、データが横断的に保存されており、上手く活用できていない。

⇒ **エンタープライズサーチ**

横断検索は

エンタープライズサーチの得意分野



資料作成の効率化

過去に作成した資料を
すぐに見つけられるようにしたい。
同じ資料を二度作る無駄を省きたい。

⇒ **エンタープライズサーチ**

「あの資料どこかにあったな」が解決
思わぬ資料の発見も！



システム開発の効率化

リリース済みのサービスと似た機能の開発案件があるので元の仕様書や設計ノウハウ、各種レポートを参照したい。

⇒ **両方**

データそのものを見たいか？
要約を見たいか？による



製品開発時の品質向上

同様製品で過去のトラブルを網羅的に事前調査して同じトラブルを再発させないようにしたい。

⇒ **生成AI連携チャットボット**
対象にしたい報告書はあらかじめ登録が必要



製品開発時の品質向上

同様製品で過去のトラブルを
網羅的に事前調査して
同じトラブルを再発させないようにしたい。

⇒ **エンタープライズサーチ**

ファイル種別が多岐に渡っている場合
エンタープライズサーチなら検索可能



社員教育・ナレッジマネジメント

マニュアルは一応あるが、
人の入れ替わりが激しく
マニュアルが見当たらないこともしばしば。

⇒ **エンタープライズサーチ**

資料置き場がわからない新入社員も
検索すれば一発で見つけられる



社員教育・ナレッジマネジメント

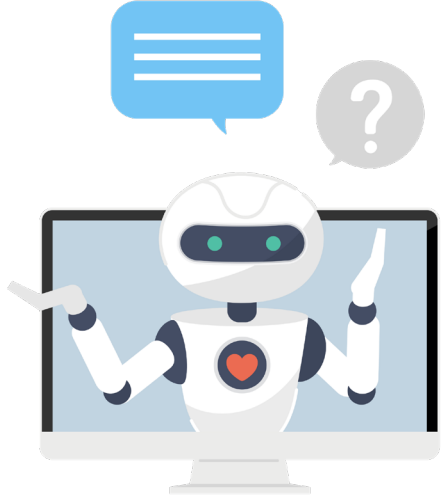
マニュアルは一応あるが、
人の入れ替わりが激しく
マニュアルが見当たらないこともしばしば。

マニュアルのデータが
多数ある場合は？

⇒ **生成AI連携チャットボット**
ファイルを1個1個開かなくても
要約を見れば作業がわかる



生成AI連携チャットボットとエンタープライズサーチ 使い分け



『生成AI連携』チャットボット

- 大量の問い合わせ対応
- 業務時間外の対応
- 同じような質問が多い業務
- 社内規定の確認
- 設計ノウハウ確認
- 過去トラブル事例確認
- ナレッジの再活用

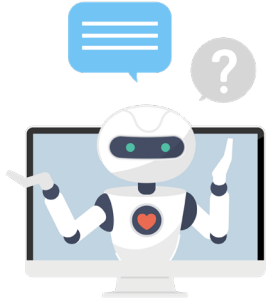


エンタープライズサーチ

- データそのものを検索
- バラバラに保存されたデータを横断検索
- 資料作成の効率化
- 暗黙知の可視化
- 新しい発見の創出
- ナレッジマネジメント

意外と分からなくなる

「生成AI連携チャットボット」と
「エンタープライズサーチ」
ChatGPTとの違いは？



『生成AI連携』
チャットボット



エンタープライズサーチ



ChatGPT

- データソースは、各社で設定した **個社オリジナルの情報**
- **個社特有の商品・制度**に関する情報検索や、質問に対する回答が得意

- データソースは、インターネット上の **パブリックな情報**
- **一般的な質問**に対する回答や、文章の翻訳・要約・校正が得意
- 不正確な情報が含まれる場合もあるため、**ファクトチェック**が必要

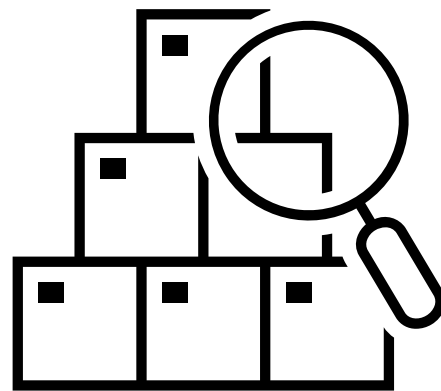
データを活用できない企業は、競争力を失う

日常で使うGoogle検索やチャットボットのように、いつでも、だれでも、簡単に使いこなせる検索ツールやチャットボットを導入することが社内ドキュメント活用の第一歩

社員一人ひとりが持つ
知識やノウハウを
組織全体で共有



日々の業務効率化や
改善施策に活かす



蓄積された社内ドキュメント・ナレッジ（自社の資産）

Neuron ESご紹介

企業内のさまざまな文書やデータを、素早く横断的に全文検索できるエンジン



横断検索

多様なデータソースへの高い接続性

統合インデックス

構造化コンテンツと非構造化コンテンツを単一のインデックスに統合

単一インターフェース

1つのインターフェースでデータソース全体に存在する関連性の高い情報を発見

セキュリティ

自分の権限を持つ文書のみが検索結果に表示

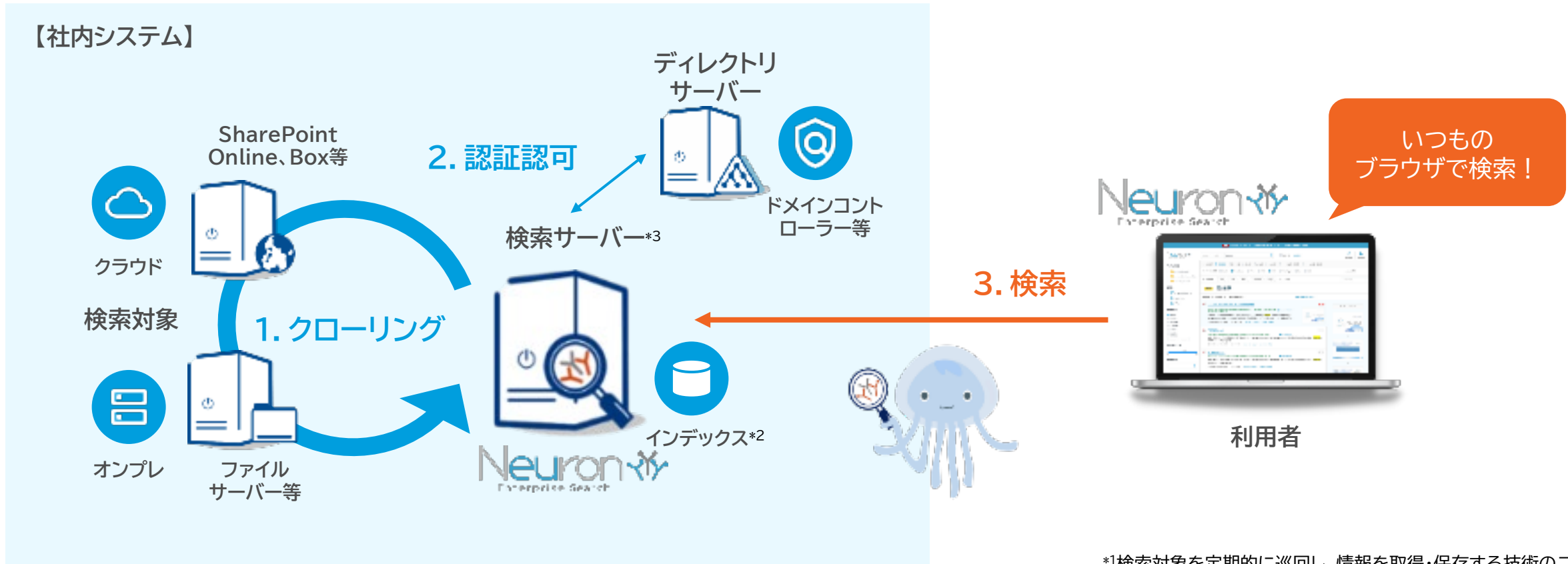
行動データ

タグ付けや文書の絞り込み、社員の検索状況把握

AI

リコメンドで検索補助、自然言語処理

既存システムに変更を加えることなく検索対象をクローリング*1
利用者はいつものブラウザで検索するだけ



*1検索対象を定期的に巡回し、情報を取得・保存する技術のこと
*2クローリングした情報が検索エンジンのデータベースに登録された状態のこと
*3検索サーバーは別途ご準備いただく必要があります

なぜNeuronES?

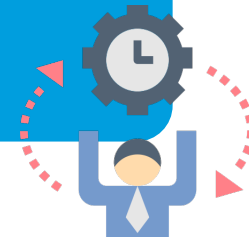


主に**4つのポイント**でNeuronが選ばれています

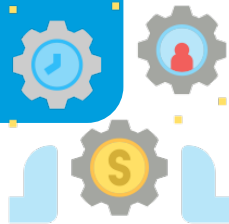
検索機能



検索性能



コスト



事例の多さ

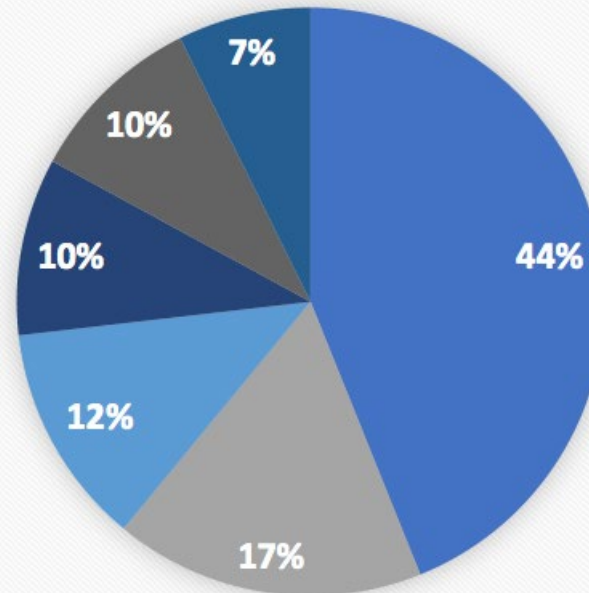


検索機能

操作がシンプル＆
賢く検索できるうえ

多様化する企業内データを横断検索！

企業内で検索したい（情報活用がされていない）場所



- ファイルサーバ+クラウドストレージ (SharePoint Online、Box、Google Drive、OneDrive)
- ファイルサーバ
- その他 (クラウドストレージ、Notes、文書管理)
- ポータルサイト
- ファイルサーバ+ポータルサイト
- メール+クラウドストレージ

利用者用

キャンペーンのお知らせ

Neuron Enterprise Search

内容+ファイル名 Neuron 選ばれる理由

完全一致 詳細検索

検索履歴 個人設定

並び替え 関連度順 新しい順 古い順 人気順 いいね順 ファイル名(昇順) ファイル名(降順)

ファイル種別 Excel PowerPoint Word Visio PDF Google Spreadsheets Google Slides Google Docs ...もっと見る

フォルダ指定

- neuron-demo-dc
- www.dropbox.com
- すべてのファイル#demo

取得元

- Box
- Dropbox
- FileServer

最終更新日

- 指定なし
- 2日以内
- 1週間以内
- 1ヶ月以内
- 1年以内
- 3年以内
- 期間指定

20000101 ~ 20231231

ファイルサイズ

0 ~ 1TB

最終更新者

検索結果: 全9件 / 1 ~ 9 件目を表示

誰でも欲しい情報にリーチできる
インテリジェント検索

欲しい情報に素早く
リーチする絞込検索

選択したリポジトリを
横断検索

利用者の権限に応じて
検索結果を表示

サムネイル・プレビューで
欲しい情報を直感的に確認

neuron_選ばれる理由.pptx

file:///neuron-demo-dc/SharedDrive/demo/neuron/プロモーション/neuron_選ばれる理由.pptx

PowerPoint プレゼンテーション 企業内情報検索にNeuronが選ばれる理由~製品特徴とお客様の声のご紹介
~プレインズテクノロジー株式会社 Copyright (c) Brains...

2019/03/02 15:59:32 安部 美希 3.64MB プレビューを表示 サムネイルを見る

20190705 Neuronパンフレット (Boxコラボ) .pptx

https://www.dropbox.com/home/demo/Neuron紹介資料/01_パンフレット/セミナー用/20190705_Neuronパンフレット(Boxコラボ).pptx

2022/06/22 07:10:38 Microsoft Office ユーザー

case09_shimz.pptx

file:///neuron-demo-dc/SharedDrive/demo/neuron/事例/case09_shimz.pptx

もあったため、全社横断検索プラットフォームの構築プロジェクトを開始しました。1.導入の背景 - Neuronを選んだ理由 - ①高速な検索 既存製品と比較して倍以上の速さで検索結果を表示 ②高いコスト...

クラウドもオンプレも！それぞれの認証システムと連携しながら
シンプルに賢く横断検索できる企業内検索エンジン

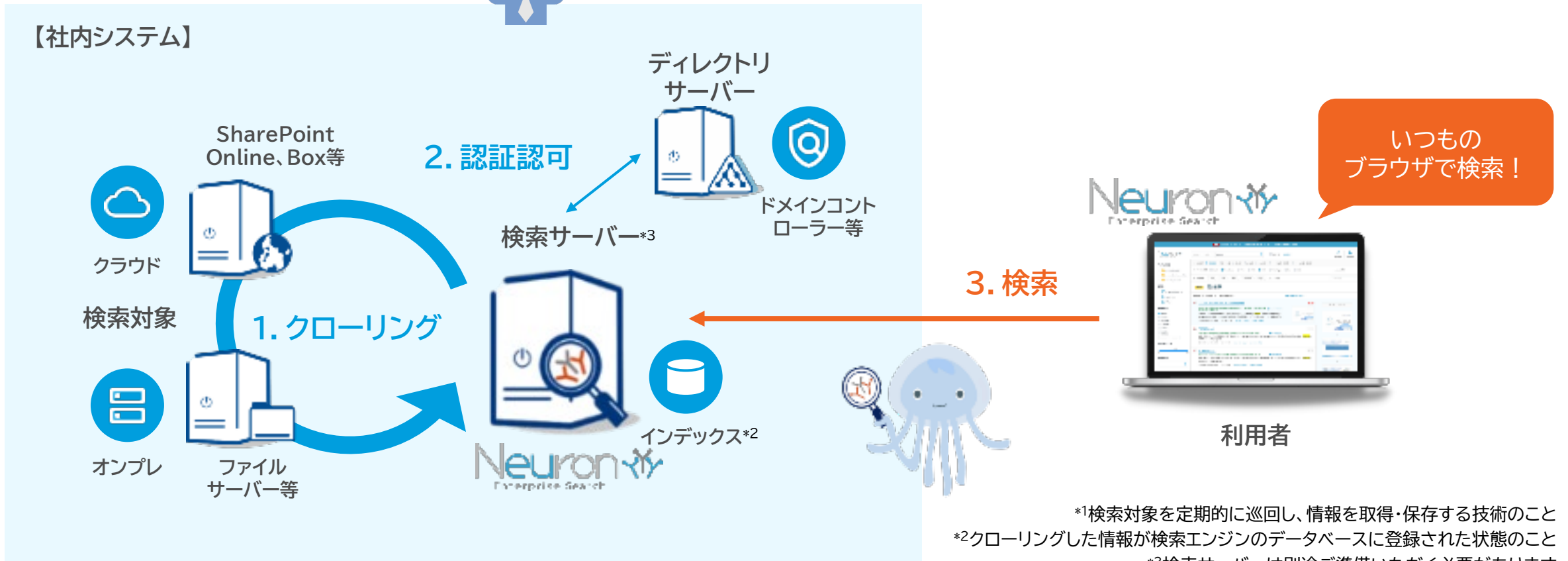
管理者用



利用者の検索履歴から興味・関心どころのトレンドが見える化
業務改善策の立案に活用できるレポート機能

検索性能

独自開発の**高速クローラー**でストレスレス

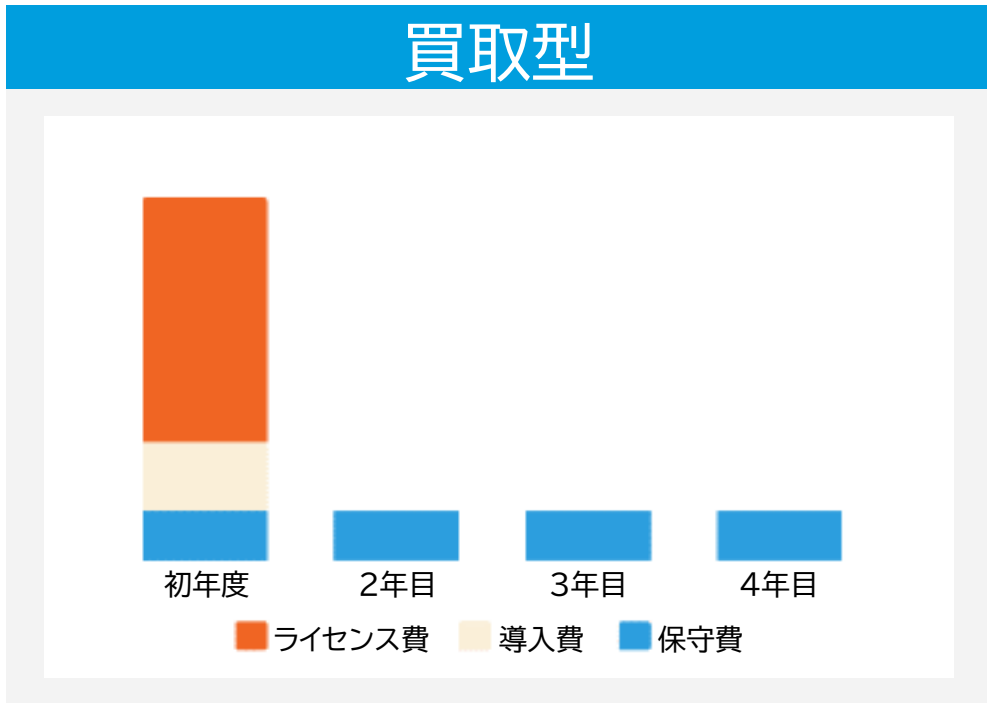


*1検索対象を定期的に巡回し、情報を取得・保存する技術のこと
*2クローリングした情報が検索エンジンのデータベースに登録された状態のこと
*3検索サーバーは別途ご準備いただく必要があります

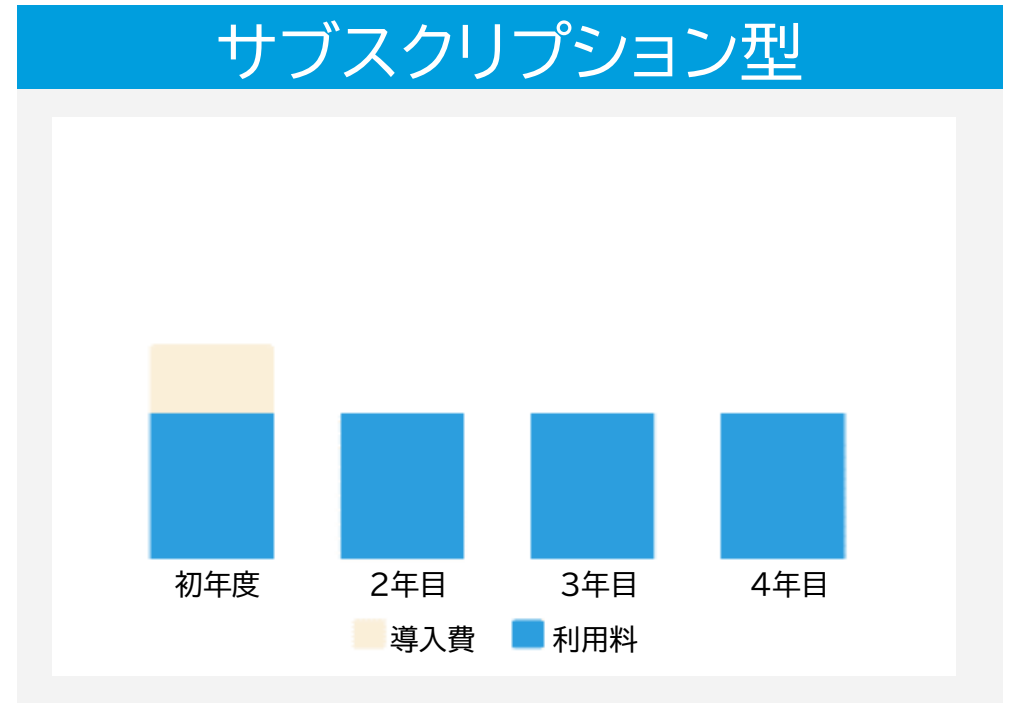
コスト



ご予算やご利用シーンに合わせて
最も**高コスパ**なライセンスをご提案



- ・ 長期利用を見据え最もお得に利用したい
- ・ 資産として計上したい



- ・ 初期費用を抑えたい
- ・ 経費として計上したい

事例の多さ

後発の製品ながら大手企業様を中心に
400ライセンス以上の導入実績



見つかる

検索精度
200%向上

他部門の資料活用率
50%向上

使える

導入後の検索数
1.4倍増

在宅勤務後の利用率
2倍以上

削減できる

削減できた検索時間
1,000時間/月

月間削減時間金額換算
500万円以上

※数値は導入企業のご利用状況と自社調査に基づき算出しています

費用対効果シミュレーション

米IDCの調査（※1）では、平均的な社員は1人あたり週に9時間（約25%*2）もの時間を、情報を探すために費やしていると報告しています。

1,000人以上の企業に勤める社員の平均給与が460万円（※3）で計算した場合、

$$460\text{万円} \times 25\% = \mathbf{115\text{万円/人}}$$

に相当するコストが調査に費やされていることになります。



例えば10%の時間を削減でき、それを価値換算すれば、

$$115\text{万円} \times 10\% = 11.5\text{万円/人}$$

となり、それが1,000人規模の企業で1/3(※4)の社員の方に効果があるとすれば

$$\mathbf{11.5\text{万円} \times 1,000\text{人} \times 1/3 = \text{約}3,840\text{万円/年間}}$$

もの価値を本質的な業務にシフトできることになります。

※1 <http://www.scribd.com/doc/6138369/Whitepaper-IDC-Hidden-Costs-0405>

※2 1日の業務時間を7.5時間とし、9÷（7.5×5日間）で計算

※3 国税庁 平成22年 民間給与実態統計調査結果

※4 全ての社員の方が使用するとは限らないため



[イベント&セミナー](#)[お役立ちコラム](#)[コスト削減シミュレータ](#)[無料トライアル](#)[お問い合わせ](#)[製品概要](#)[機能一覧](#)[導入事例](#)[動作環境](#)[よくある質問](#)[資料ダウンロード](#)[オンラインデモ体験](#)

Neuron ES 導入効果シミュレータ

[Top](#) / [製品&サービス](#) / [エンタープライズサーチ「Neuron ES」](#) / [導入効果シミュレータ](#)

Neuron ES 導入効果シミュレータ

下記フォームにご入力頂くと、Neuron ESの導入効果シミュレータがご利用頂けます。
算出される結果はあくまで概算かつ、結果を保証するものではありませんが、社内説明等にお役立て頂ければ幸いです。

※実際に下記シミュレータがご利用頂けます。



Neuron ES導入後のシミュレーション結果

※算出されるシミュレーション結果はあくまで計算方法に基づく概算の結果です。結果で出たコスト削減額が保証されるものではありませんので、あらかじめご了承ください。

社員一人当たり 1.55時間/月 削減

会社全体で換算すると 1866.66時間/月 削減

月間4,853,316円のコスト削減に繋がる

生成AI連携オプション

検索結果に表示された文書に対して、会話型AIチャットで更に深掘りした回答を得ることが可能
これによりユーザは今まで以上に深いナレッジを得られます

検索結果に対して対話形式で
情報の深掘りが可能



- ユーザのアクセス権限に従って回答を表示
- 企業内の情報だけでなく、インターネット情報も考慮した回答可能
- OpenAI以外にもAWS Bedrock等様々な生成AIと連携予定

Panasonic

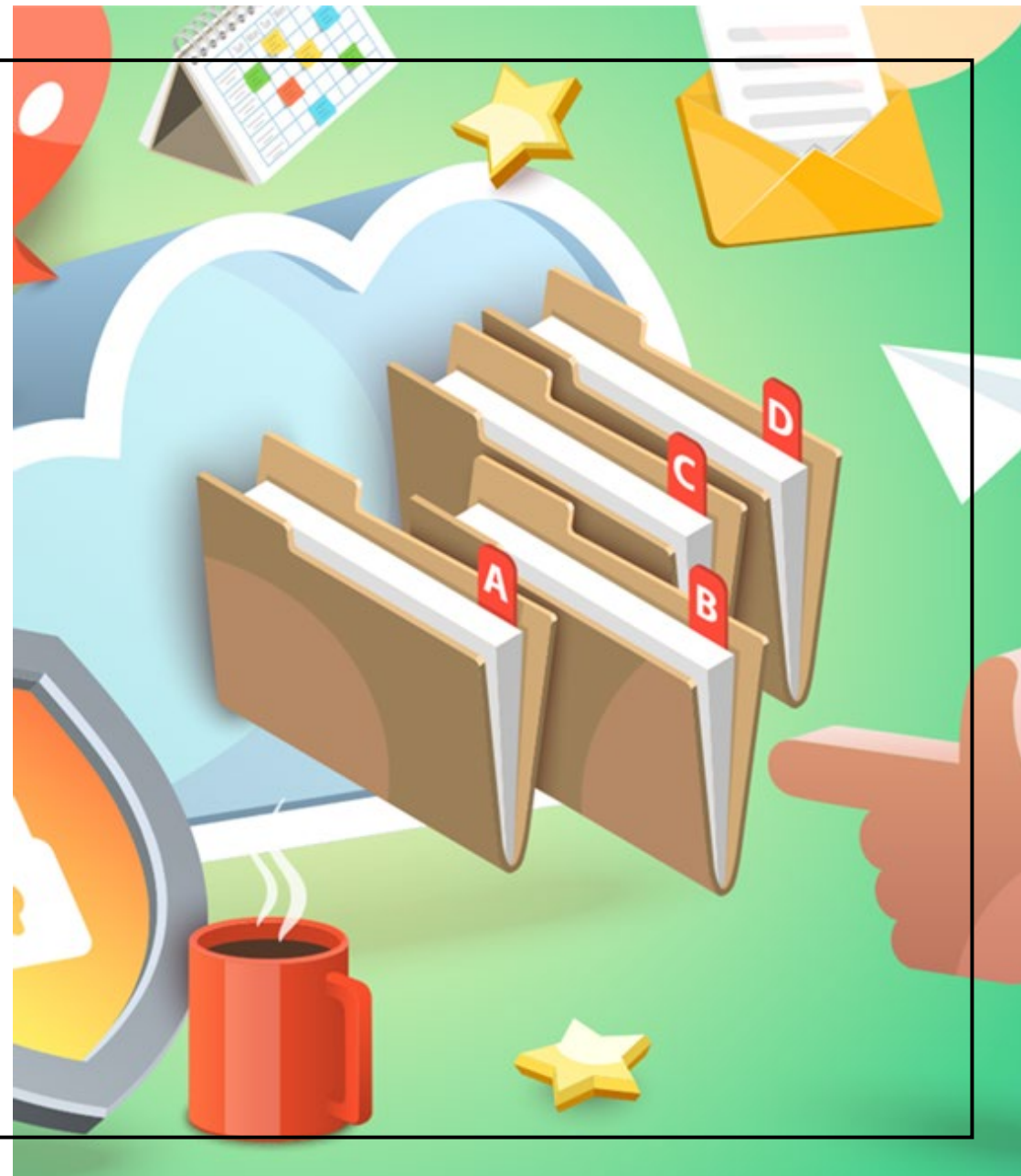
生成AI連携 チャットボット

社内ドキュメント資産の
効果的な活用方法とは

AIチャットボット

WisTalk

ウィズトーク



社内問い合わせへの回答

社内ナレッジの共有・活用

AIチャットボット

WisTalk

ウィズトーク

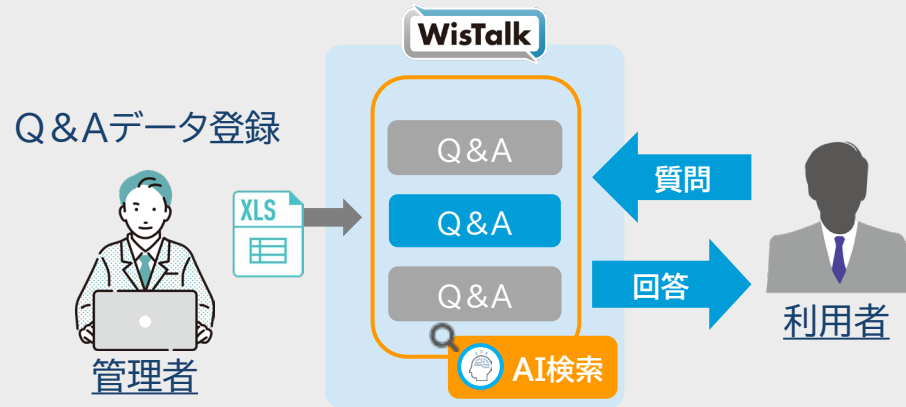


「WisTalk」とは

あなたに代わり、社内からの問い合わせに自動で対応するAIチャットボットです
2種類のAIの併用で問い合わせへの自動回答、社内のナレッジ共有や活用にお役立ちします

Q & A検索AI

登録したQ & Aから
高精度で正確な回答が可能



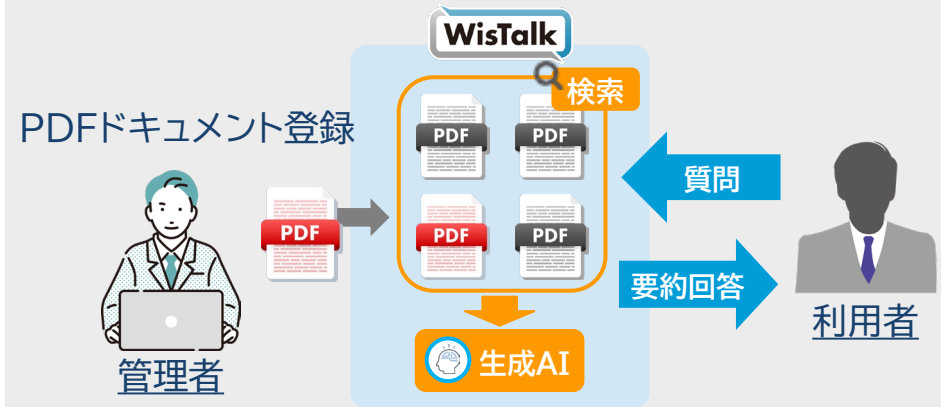
パナソニック独自のAIが意味を理解し、
表現の揺らぎを吸収します。

+

併用可能

生成AI

登録ドキュメントから
幅広い質問への回答が可能



パナソニック独自のAIが登録ドキュメントを検索。
該当部分の文章を生成AIで要約し、自動で回答します。

生成AI連携のメリット

Q&Aの整備と、運用開始後のメンテナンスにかかる工数を最小化できます



生成AIが回答

検索
ドキュメント

要約

ドキュメントから
要約回答



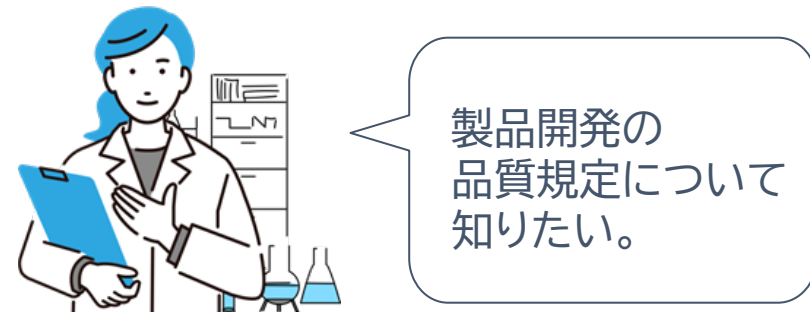
人事規定



ガイドライン

WisTalk

技術規定や過去の事例集などのドキュメントの登録でナレッジを共有化情報を簡単に取得できます



生成AIが回答

検索
ドキュメント

要約

ドキュメントから
要約回答



品質保証規定



品質検査手順

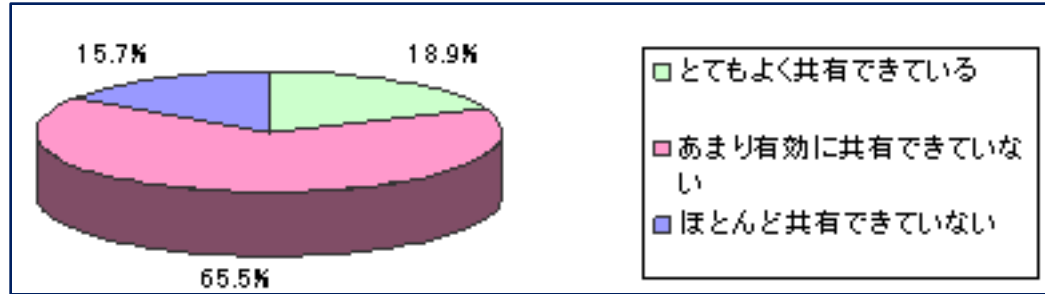
The background image shows a person's hands typing on a laptop keyboard. Overlaid on this is a large, glowing white icon of a document folder on the left. To its right is a white tree diagram representing a file hierarchy, with several folder and document icons connected by lines. The scene is lit with blue and white bokeh lights, creating a high-tech, digital atmosphere.

ドキュメント検索機能の活用

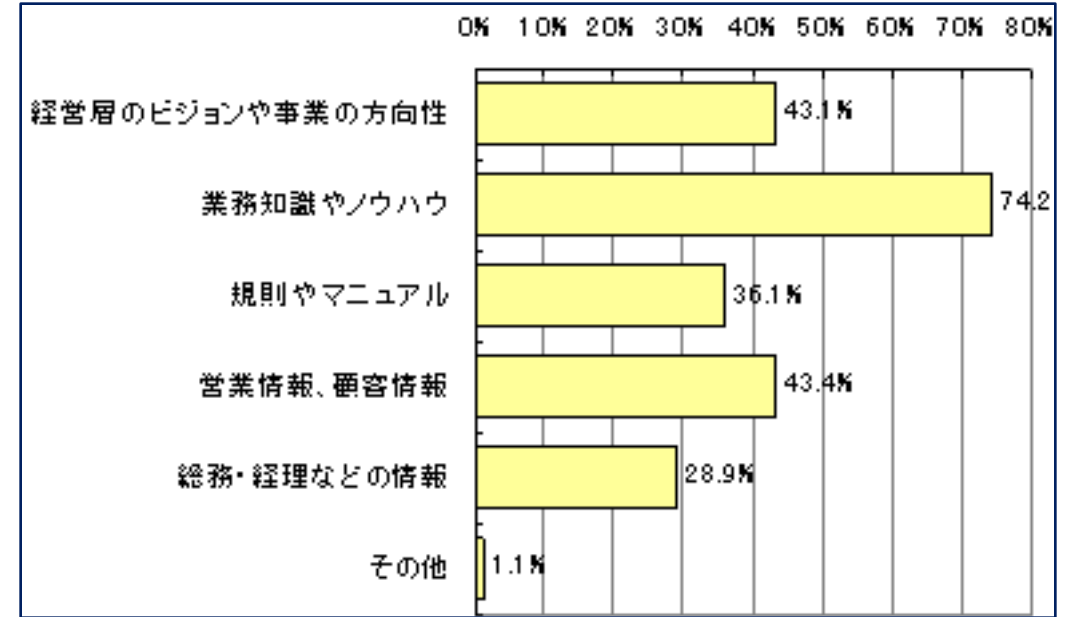
知識やノウハウなどの情報共有ができていない

「企業内コミュニケーションの実態」に関する調査によると
従業員数が多くなるほど部署を超えたコミュニケーションが不足するという結果に!

社内の情報共有状況



情報共有ができていない内容



永遠の課題?

誰がどんな情報を持っているか不明

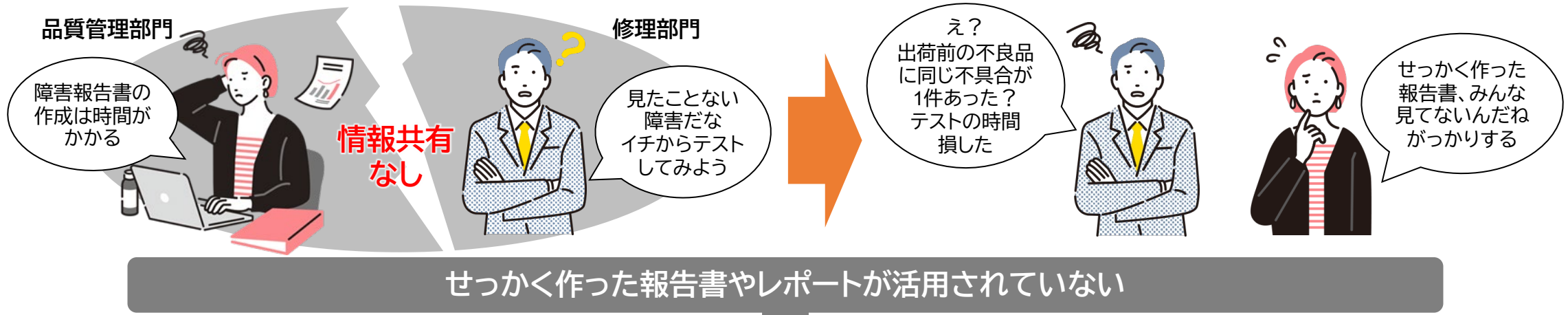
情報が多すぎてすぐに見つからない

情報の取捨選択に手間がかかる

部署間の距離の遠さによる実務的・実践的な情報の共有不足

「gooリサーチ」調べ: 出典「NTTコム リサーチ(旧gooリサーチ)」「企業内コミュニケーションの実態」に関する調査結果 <https://research.nttcoms.com/database/data/000361/>

誰がどんな情報を持っているか不明



個別に情報源を探索する必要がなくなり、個人では共有できていない情報も活用

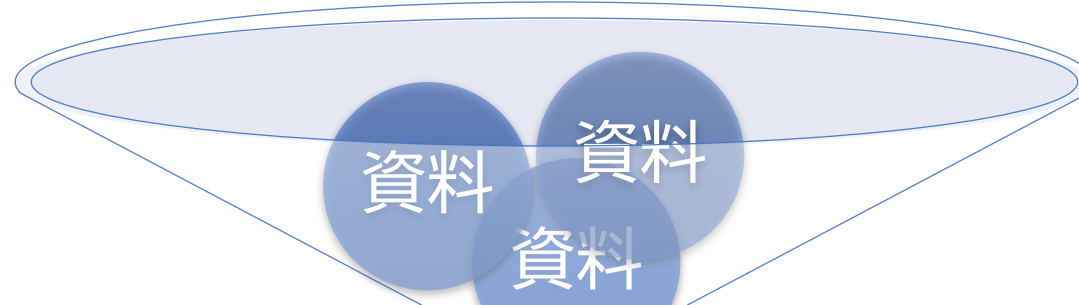
情報が多すぎてすぐに見つからない／情報の取捨選択に手間がかかる



目視でドキュメントを読み込む必要がなくなり、目的の情報にすぐにアクセス

WisTalkを活用して社内ドキュメント資産を有効活用

未整理のまま蓄積された過去からの情報・ナレッジ



共有されず、利活用が進まない


これまでは

WisTalk

これからは

情報・ナレッジの再活用促進！





「WisTalk(ウィズトーク)」サービス紹介

「WisTalk」の特長

特長①

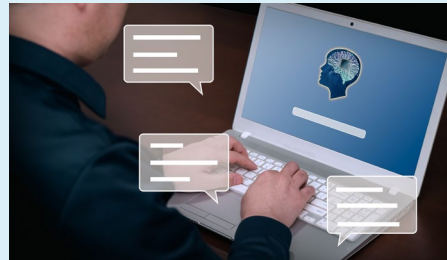
バックオフィスで
使われる用語を網羅した
Q&A検索AI



30年以上のAI研究と商品
開発で培った、パナソニック独
自開発のQ&A検索AIで、高
い回答精度を実現。

特長②

Q&A準備・メンテナンス工数を
最小化
生成AI自動回答



生成AIの活用で、
チャットボット導入で
問題となる最初のQ&A
整備と、運用開始後の
メンテナンス工数を最小化。

特長③

大規模運用でも安心
**複数部門向け
管理機能**



複数部門運用に適した管理機
能で部門別・事業別・会社別の
ボット運用が可能。

特長④

導入から運用まで、
豊富な知見を持つ担当者による
伴走サポート



トライアルから利用定着率や
回答精度の改善までを支援。

特長① パナソニック独自のQ&A検索AI

Q&A検索回答ではバックオフィス用語を事前学習したパナソニック独自開発のAIエンジンを利用。登録されていない表現でもAIが意味を理解し、高い回答精度を実現します。

事前学習×バージョンアップで 業界専門用語や新語を網羅



在宅勤務の手続きは？



テレワークの申請はどうする？



自宅で勤務する方法は？

人によって異なる表現の問い合わせでも、AIで表現の揺らぎを吸収。

テレワークの手続きは…



一般用語に加え、人事・経理・システム・品質など、約30万個の専門用語を事前に学習したAIエンジンを搭載。定期的なバージョンアップで新語の追加学習を行っています。

導入後も自動で学習 社内独自の用語にも対応



チャットボットの使い方は？



WisTalkの利用方法は？

「チャットボット」と「WisTalk」が同じような意味の単語であるとAIが自動で学習。

チャットボット ≒ WisTalk



AIが質問ログの情報を分析、学習します。未知語を理解し、自社に合わせて自動で回答精度を上げていきます。

特長② 生成AI自動回答

社内規定文書など複数のドキュメントの内容から、生成AIが要約して回答します。
入力質問やドキュメントの情報は二次利用、第三者提供されないため、安心してご利用いただけます。

PDFドキュメントの 登録・差し替えだけでOK

Q&Aデータの準備は不要
簡単・スムーズな
導入・メンテナンスを実現

ドキュメントを追加

アップロード

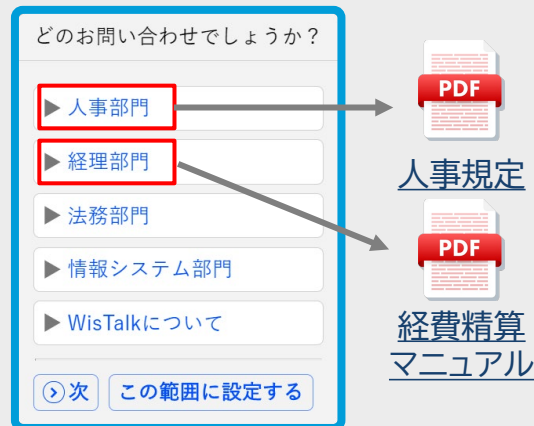
表示

管理者画面から
簡単な操作でドキュメントの
アップロードが可能

管理者画面イメージ

カテゴリーを選んで 高精度な回答

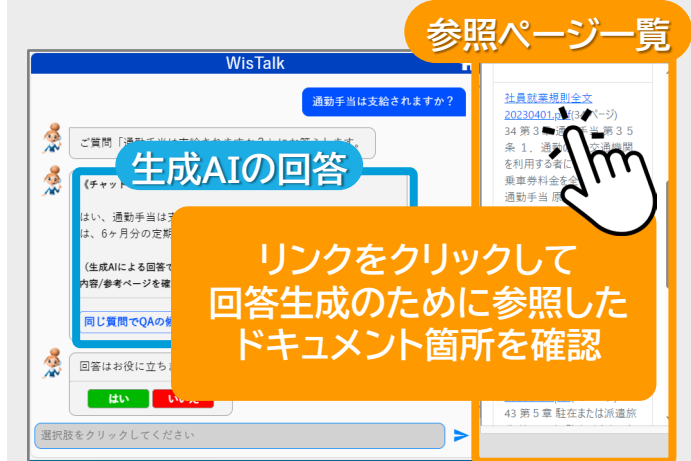
カテゴリーを指定することで
不要な情報が入らないので
高精度



カテゴリー選択画面イメージ

参照したドキュメントを その場で確認可能

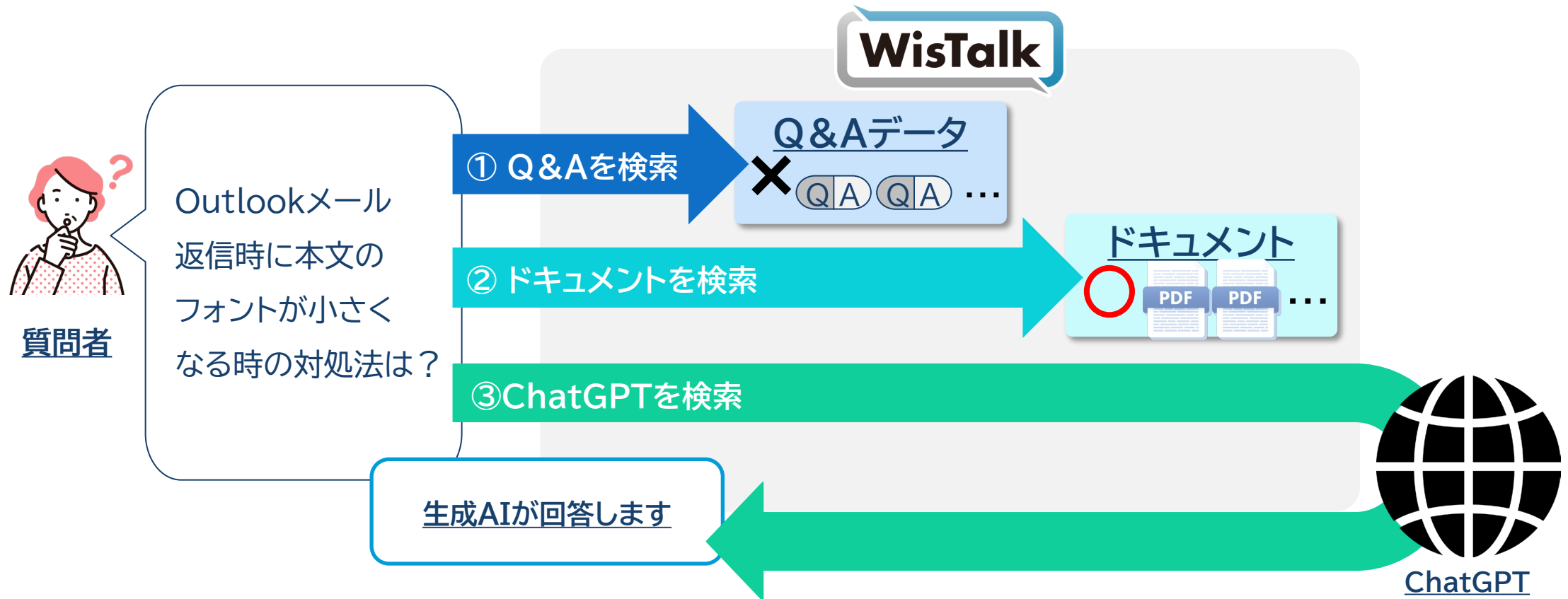
生成AIが参照した
ドキュメントのページを
すぐに確認可能



回答画面イメージ

Q&A検索AI × 生成AI

WisTalkではQ&A検索回答と生成AI自動回答を併用して運用ができます。



利用者が問い合わせを行うと、まずQ&A検索AIが事前に登録されているQ&Aから検索回答します。回答が見つからない場合は生成AIが回答しますので、利用者が意識してAIを使い分ける必要はありません。

特長③ 複数部門向け管理機能

1つのチャットボットで、複数部門での運用が可能。複数部門での利用に有効な管理機能が充実しています。

カテゴリーグループ機能

利用者画面のカテゴリー 選択イメージ

お仕事お疲れ様です。

どの部門に関するお問い合わせでしょうか？

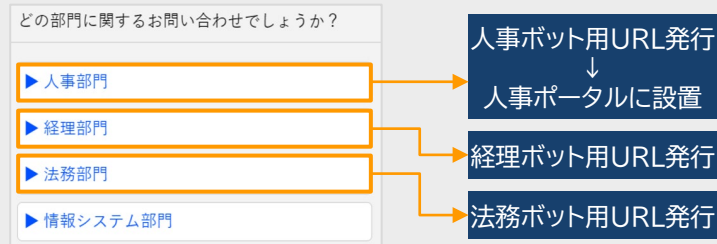
- ▶ 人事部門
- ▶ 経理部門
- ▶ 法務部門
- ▶ 情報システム部門

次 上記項目の中で質問の多いものを表示

ボタン選択でカテゴリーの絞り込みが可能
1つのボットで複数部門の
問い合わせに対応できます

部門別チャットボット

URL発行イメージ



人事ボットイメージ

人事部門 についてのお問い合わせですね。
お知りになりたい内容や範囲をもう少し詳しく教えてください。

- ▶ 勤怠関係
- ▶ 福利厚生・人事制度
- ▶ 単身赴任・転宅
- ▶ 退職手続き

ひとつ上位へ移動する 上記項目の中で質問の多いものを表示 最初に戻る

部門ごとにチャットボットへの
アクセスURLを発行可能
部門専用のボットが作成できます

ナレッジベース機能

全データにアクセスできる管理者の 画面イメージ

ナレッジベースの選択: 人事部門

QAデータ登録数: ナレッジベース

チャット評価 サポート

人事部門のデータにのみ アクセスできる管理者の画面イメージ

ナレッジベースの選択: 人事部門

QAデータ登録数: ナレッジベース

部門ごとに管理者サイトを分けられます
Q&A登録も部門ごとに実施
他部門データの誤編集を防げます

特長④ 伴走サポート

スムーズにチャットボット導入・運用開始できるように専任担当SEがご支援します。
運用開始後も課題の確認から対策案のご提案まで個別にサポートします。



そのほかのお役立ち機能

シナリオ機能



選択肢によって回答内容を分岐。
トラブルシューティングなどに利用できます。

ログ分析機能



改善すべきデータを会話ログから分析。
運用工数をラクラク最小化。

有人チャット



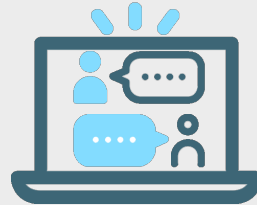
対応できなかった問い合わせを
有人才オペレーターへそのまま引き継ぎ。

お問い合わせ機能



解決できない質問をお問い合わせ
フォームに誘導し、担当者に連携。

Microsoft Teams連携機能



Teams^{※1}の画面から
チャットボットへの質問が可能です。

※1 お客様側でTeamsのご契約が必要です。

Microsoft Entra ID連携機能



Entra ID^{※2}の認証によるセキュリティ向上
質問者の特定が可能です。

※2 お客様側でEntra ID (P1 以上) のご契約が
必要です。

導入実績(一部)

大手企業から中堅企業を中心に、さまざまな業界の企業に導入いただいています。

SCREEN

NIRAKU
Happy Time Creation

共栄火災

Japan PC Service

Forest
Holdings

クスリのアオキ

RYOBI

大和リース株式会社
Daiwa Lease

NTSホールディングス株式会社

mitsuwa

JGC 日揮グループ
JGC GROUP

HYOGO ROKKO
JA兵庫六甲

BX 文化シヤッター

Canon
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

ALFATECCS

商工中金

Eisai エーザイ株式会社

ASTEM 株式会社 アステム

足利銀行

Panasonic



おわりに

無料トライアルのご案内

30日間実際の操作感や運用イメージをご確認いただけます。

トライアル満足度
98%



専任担当SEが
トライアルから
ご支援します



お問い合わせはこちらへ



利用料金

初期費用
30万円

+

月額費用
15万円～

利用者数課金

なし

ツール連携費用

なし

部門追加費用

なし

伴走サポート費用も月額費用に含みます

価格のお問い合わせはこちら



「WisTalk(ウィズトーク)」お問い合わせ

Webページからのお問い合わせ



Webページからのお問い合わせ

当社のWebページからも
資料請求・お問い合わせができます。

Webから検索



「WisTalk」で検索し、
当社のWebページより、お問い合わせください。

Panasonic